

平成29年度第2回中央区自殺対策協議会 議事（要旨）

---

1 日時 平成30年2月7日（火） 午後7時～午後8時15分

2 場所 中央区保健所2階大会議室

3 出席者

【委員】

張賢徳（委員長）、岩重佳治、石松伸一、池田真人、宮崎舜賢、羽鳥賢三、石井真人、前田宥全、松本豊（代理）、三浦真（代理）、久保田広一（代理）、三井吉明（代理）、平賀正司

田中武、長嶋育夫、黒川眞、古田島幹雄、浅沼孝一郎

【事務局】

健康推進課長、予防係長、健康推進主査、他

（主な議題）

- 1 今年度の取組について
- 2 事例検討
- 3 今後の取組について
- 4 その他

---

[議事の経過]

1 今年度の取組について

事務局より、今年度区が実施した取組みについて、ゲートキーパー養成講座を年3回実施し、区職員向けの講座を実施したこと、また新たな取組として、図書館との連携を行い、夏休み及び自殺対策強化月間を含む8月・9月に京橋図書館1階展示スペースで関連書籍を展示した等の報告があった。

ゲートキーパー養成講座の講師を務めた委員からは、ゲートキーパーと言っても立場によって関わり方が変わる、区職員向けのゲートキーパー養成講座では、希死念慮者が役所に相談に来た場合を想定し、少し踏み込んだ内容の話をした等の意見があった。

2 事例検討

事務局より実際現場で相談・支援を行った事例に関する報告があった。

委員からは、自殺予防対策は多岐に渡るが、単発的なイベントだけではなく、現場活動が積み重なっていくことが自殺予防につながる、またハイリスクなケースに対応するためには、関係機関同士の壁を越えた連携による切れ目ない支援体制、身近で気軽に相談できる場や不安・悩みを分かち合える場づくりに行政として取り組んでいかなければいけない等の意見があった。

### 3 今後の取組について

事務局より自殺対策計画策定の今後のスケジュールについて報告があった。

平成29年7月に策定された新自殺総合対策大綱を受け、都では新しい計画を平成30年6月ごろに公表の予定である。これを受け、本区では平成30年度から計画策定に着手し、平成31年度中の公表を目指し協議を重ねたい。庁内では平成30年4月以降に関係部署による策定に向けた会議体を設置し、検討を進める予定であり、本協議会では次回の協議会で、計画素案について検討する予定である。

### 4 その他

平成28年度に薬局連携の一環として薬局にステッカーを配布したが、その状況を把握するために区内の薬局にアンケートを行った。その結果を受け、薬剤師の方々に改めてゲートキーパー養成講座への参加と自殺予防リーフレットの配置をお願いしたいと考えている。

なお、平成30年度第1回中央区自殺対策協議会は平成30年7月11日に開催することが決定した。